



大阪都構想の設計図が完成

今こそ より強い大阪の実現を!

府議会9月定例会において、9月30日、大阪維新府議会議員団の置田浩之政調会長が代表質問を行いました。

完成した大阪都構想の設計図である特別区設置協定書(※)をはじめ、府の成長戦略や都市魅力の向上策、さらには教育改革など府政の重要課題を幅広く取り上げ、松井知事並びに府理事者と真摯な議論を交わしました。

※府と大阪市を統合し大阪市を5特別区(中核市並み)に再編する“設計図”

大阪都構想の推進 特別区設置協定書について

【置田浩之】

本年7月、法定協議会で特別区設置協定書がとりまとめられ、大阪都構想に関する設計図が総務大臣の承認を得て9月について完成した。都構想で大阪がどのように良くなるのか。

【松井知事】

- 大阪の再生には新たな大都市制度の実現しかない。
- 府市の再編により、
 - 広域機能を一元化して都市競争に打ち勝つ強い大阪を実現する。
 - 大阪市を特別区に再編して公選区長・区議会のもと住民に身近な基礎自治体を作り、身近なことは、住民参画のもと地域で決める。
- 広域機能の府への一元化で府域全体の観点から、スピード感を持って強力な施策展開が可能となり、産業政策や交通インフラの整備などを効果的に進めていく。

観光・都市魅力 国際万国博覧会の誘致

【置田浩之】 2025年を目指し、大阪に国際万国博覧会を誘致すべき。

【松井知事】

- 1970年の大阪万博では、まさに世界を感じた。大阪万博を知らない世代にも、万博を体験していただきたい。
- 「人類の進歩と調和パートII」をぜひ開催したい。大阪の2回目の万博は、国内外から新たな観光客やビジネスマンを呼び込み、日本、大阪の成長の起爆剤になる。

教育改革 学校におけるICT環境の整備

【置田浩之】

大阪の子どもたちの将来のため、学校のICT環境の整備を推進すべき。

【中原教育長】

- 府立高校等では早期にネットワーク回線の増強などICT環境整備に努める。
- 公立小中学校は、一義的には設置者である市町村の役割。府教委からはタブレット型コンピュータなどの活用の好事例等を市町村教育委員会に情報提供していく。



置田政調会長

代表質問の全容は、大阪府議会ホームページで(インターネット中継)ご覧になれます。

大阪府議会 検索

維新の英断! 認定こども園の定員!

松井知事と大阪維新が認定こども園制度を推進!

(条例改正案可決)

府内認定こども園の3歳児学級の定員について、松井知事は、大阪維新府議団との議論、私立幼稚園連盟との意見交換、保護者の要望などを真摯に踏まえ次の内容の条例改正案を提案し可決されました。

- 学級編成基準を25人以下とする
- 待機児童の解消を図るため35人以下の学級編成を認める

この英断により、引き続き、教育の質の維持向上が図られるとともに、待機児童の解消に一定の効力が期待されることとなりました。

大阪を変える 大阪都構想

府と大阪市を再編すれば

- 設計図に示す5区案の財政シミュレーションでは平成29年度から17年間に大阪府と特別区で2900億円余の財源が生まれます
- 広域行政の一本化で新たな経済成長戦略が動き出します
 - まちが変わります
 - 交通インフラ(鉄道・モノレール)を整備促進します
 - 都市型高速環状道路を完成させます
 - 統合型リゾートを誘致します
- 特別区は区長公選で住民サービス向上

議会も住民もすべてが納得するには 住民投票です!



橋下徹

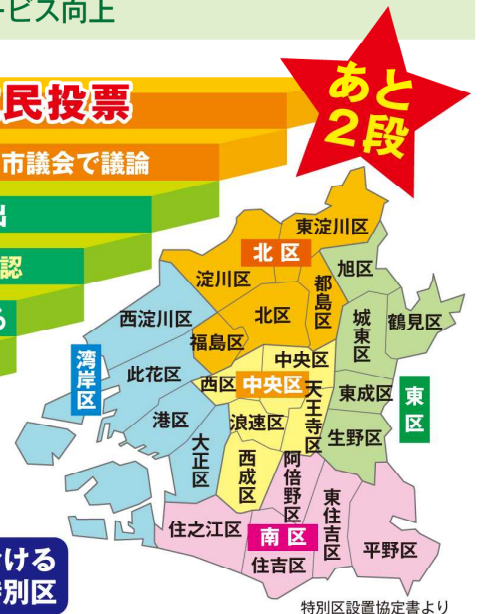


松井一郎



土井達也

大阪都構想設計図は(特別区協定書)議論激論を重ねH26年9月に完成!!



特別区設置協定書より

ここから 始まりました

〈設計図完成までの道のり〉

※大都市地域における特別区の設置に関する法律

大阪都構想実現で、大阪が再生し、魅力と活力を生み出す都市になります。それは大阪の核となる大阪市の大改革、府と市の再編統合から始まります。無駄な二重行政と二元行政、住民不在かつ大局的見地と経営理念なき行政と議会を放置することは許されません。疲弊し弊害が目立つ現在の機構を変えるため、改革を恐れる人々、すなわち既得権を享受する組織や勢力の抵抗を恐れず、大阪維新府議会議員団は、実現に向け果敢と斬り込んでまいります。